

## 羊膜移植の術者認定を希望する先生方へ

日本眼科学会理事長      大鹿 哲郎  
日本角膜学会理事長      山上 聡  
日本角膜移植学会理事長      西田 幸二

2014年より羊膜移植が保険収載されております。羊膜移植の安全な実施に向けて、日本眼科学会、日本角膜学会、日本角膜移植学会の3学会で検討した結果、羊膜移植の術者は、羊膜移植講習会（日本角膜学会開催、日本眼科学会認定）を受講し、羊膜移植術者の認定を受けた上で羊膜移植を実施していただきます。羊膜移植講習会は年2回、角膜カンファレンス、日本臨床眼科学会の期間中に行います。

術者として必要な要件は、以下の1)～4)の通りです。

- 1) 眼科の経験を5年以上有する。
- 2) 羊膜移植の術者または助手の経験を6例以上有する。
- 3) 羊膜取扱いガイドライン\*および羊膜移植ガイドライン\*の内容を順守して羊膜移植を行う、
- 4) 日本眼科学会主催の講習会（年2回開催）を受講すること。

羊膜移植術者の認定を希望する先生は、講習会を受講した上で、日本角膜学会に羊膜移植術者認定申請書を送付して術者認定書を受け取ってください。

\* 羊膜取扱いガイドラインおよび羊膜移植ガイドラインは日本角膜学会のウェブサイト (<http://www.cornea.gr.jp/>) から閲覧してください。